

市立養護老人ホームのあり方について

○12月21日開催「岡山市総合政策審議会保健・福祉部会」の内容

(1) 議題 これまでの主な意見のまとめ等

(2) 12月21日開催の部会における委員の主な意見等

- ・ 介護保険制度導入後、養護老人ホームのショートステイの利用が少ないのは、制度そのものに不備があるのではないか。
- ・ ショートステイの稼働率を上げるためには、むしろ居室に変更するのが現実的である。
- ・ 入所者アンケートの結果の夕食が5時でよいというのは、長年、同じような生活をしているうちに、惰性的にもう仕方がないと思っているのではないか。
- ・ 今回のアンケートのような取組は、施設で日常的に行われるのが当たり前である。あり方の検討が始まり7月経つが、施設で新たな取り組みはなされているのか。
- ・ 3園が公設公営でなければならない理由が、いま一つ見つからない。3園の現状が違うのに横並びでないと変えられないというような話が園長から出ていたが、そこに、公としての限界を感じる。3園とも委託にするのが良いとは思わないが、1園あるいは2園は、委託を考えてもよいのではと思う。
- ・ ある施設で年間1億円も市の持ち出しがあることを聞いて驚いた。委託により経費が削減できるのであれば、なるべく委託できることは委託して経費を浮かせてほしい。
- ・ 市議会で養護老人ホームのことが取り上げられていれば、教えてほしい。
- ・ 老朽化した松風園を建てかえる費用を教えてほしい。
- ・ 入浴や食事について、3園が良い方向での統一であればよいが、悪く横並びに統一することに合点がいかない。
- ・ 倉敷の施設が公営から民営になったが、その前後の状況や食事等について聞いてもらいその結果を教えてほしい。
- ・ 3園の地域性や設備等がそれぞれ違う中で、3園の運営について、市にどのような考えがあるかこのあたりで示してもらいたい。